

第3章ピンチへの対処「3. ファー詰め」

フットサルにおける最大の失点パターン、ファー詰め。数的不利で崩された場合のフィニッシュに多く見られるシーンです。崩されているわけですから、ゴレイロとしては対応が難しいのは事実ですが、守る上でのセオリーは存在します。以下に提示します。

【其の1】基本的なポジショニング

ファー詰めに対するポジショニングには大きく2つの考え方があります。

- ① シューターに対してゴールを守りつつ、ファーに出されても間に合う位置にポジショニング
- ② シューターに対し積極的に前に詰め、ファーへの「パス」をもカットできるポジショニング

もちろん、色々なシチュエーションがあり、どちらが良いとは一概に言えないとは思いますが、②で守れるように練習やシミュレーションを重ねることで、ゴレイロとしてのレベルは上達していきます。積極的に前に詰め、相手FPに嫌がられるゴレイロを目指しましょう。

写真①（両方に対応したパターン）



写真②（パスをカットできるポジショニング）



【其の2】相手の位置によるゴレイロのポジショニング

ゴレイロがポジショニングを間違える例です。相手のファーの選手は、ゴレイロがパスをカットできないポジションを取ろうと動きますので、ゴレイロはその前提でポジショニングしておく必要があります。ここでは、以下の理論を覚えておきましょう。

「相手が自分よりも後ろにいない状態にする。」

～守護神はチームの主軸にして攻撃の起点
日本初の本格的ビギナー向けGKクリニック～
ゴレプロ ～Goleiro Professional Clinic～

写真で見てください。特に床のラインに注意して見て下さい。

写真③（ゴレイロが相手より前にいる→パスを出されても対応できない）

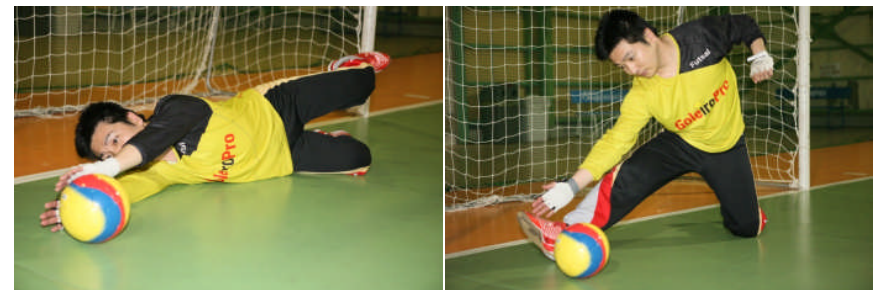


写真④（ゴレイロは相手のいるギリギリの線まで前に出る→パスに対応できる）



【其の3】ファーへの飛び込みは「手」か「足」か。

完全に崩された時、どのようにボールに飛び込むと良いでしょうか。
左の写真は手、右は足のパターンです。



～守護神はチームの主軸にして攻撃の起点
日本初の本格的ビギナー向けGKクリニック～
ゴレプロ ～Goleiro Professional Clinic～